

学校だより 希望の鐘

ひとつづつはちどしがひらかない



八 戸 市 立 小中野中学校

平成28年12月22日(木)

No.69 文責：校長
工藤 聡

中学生は「冬に育つ」

8月22日から始まった授業日数84日間、総日数122日の2学期も今日で終了となります。2学期が始まった頃はまだまだ残暑が厳しく、猛烈な暑さが続いていた頃でもありました。それが、今や最低気温は氷点下を下回ることもあるほどの寒さです。今の季節、樹木は葉を落とし、寒さに耐えるようにたたずんでいます。しかし、ただ耐えるばかりではなく、見てもはっきりわかりませんが、このような寒い冬の季節でも、確実に成長しているのです。年輪をひとつずつ増やしなが、春に芽を出すために、地中から栄養分を蓄えているのです。

これは人間も同じで、みなさんのように若い時には特にそうだと言えます。この冬が、学習だけでなく、運動や文化面でも、心の部分でも、力をつけ成長する時期となるのです。ただ、樹木と違う点は、人間は何もしないでたたずんでいるだけでは成長しない、伸びないということです。

1・2年生は冬季の大会もありますが、まずは次年度に向かって練習に励んでいると思います。3年生は、3学期が本番を迎える自己の進路の実現を目指して、日々頑張っているはず。来年の4月に、自分が今より一段上の成長したステージにいるためには、実は、この12月から3月までに、いかに力をつけるかが大切なのです。いかに、本気になって取り組むかなのです。そういったことを考えれば、明日からの冬休みは「本気の冬休み」でなければなりません。「冬、樹は育つ」と言いますが、言い換えれば「冬、中学生は育つ」ということになります。

元旦には、それぞれに応じた一年の誓いを立てると思いますが、誓いのPLAN（計画）だけでなく、本気のACTION（行動）が大事なのです。自分の可能性を伸ばすために、「いつ、何を、どのようにするのか」ということをしっかり定めて、この冬に立ち向かってほしいと思います。その一つの指針として、私がある高校（八戸市内ではありません）を訪れた時に目にした、「3年生の6箇条の目標」をみなさんに紹介します。

「1 時間を厳守する人間になる→時間厳守は社会の基本。時間にルーズな人間は信用されない」冬休みは、普段と違って時間的に余裕があります。それをどう使うかが3学期に影響します。まずは、寝る時間や起きる時間を含め、時間を守ることを第一に考えましょう。

「2 授業に真剣に取り組む人間になる→勉強は、脳と心の『自分磨き』である」この授業という言葉葉を「冬休みの課題」や3年生は進路実現のための「勉強」と置き換えて、とらえてみてください。

「3 きちんとした服装で過ごす人間になる→制服はフォーマルなユニフォームである。制服の乱れは心の乱れにつながる」冬休みは家庭で過ごす時間が多くなります。その分だけ、私服でいる時間も当然増えるわけです。それが、自由な気分につながって、さらに頭髮や眉をいじることにつながっては絶対にいけません。

「4 清掃や整理整頓をしっかりやる人間になる→しっかり清掃して、きれいな環境で落ち着いて生活する。汚い環境は邪悪な心を芽生えさせる」きれいにしておけば、ゴミが落ちていてもすぐに気がつき、何とかしようとするものです。しかし、よごしたままにしておくことで、気持ちが徐々にマヒし、どんどん汚くなっていってしまいます。いつでも、どこでも、冬休みでも同じですよ。

「5 自分から気持ちよくあいさつをする人間になる→あいさつは人間関係の基本！あいさつや言葉遣いをしっかりできない人間は、社会で通用しない」みなさんがきちんとあいさつしていることは、よくわかっているつもりです。それが、学校だけではなく、地域や家庭でもできるようになって、自分自身の本当の力として蓄えられるのです。冬休みも、積極的に実践してみましょう。

「6 世の中のルールやマナーを守る人間になる→意見や文句は自分がきちんとしていなければ（ルールやマナーが守れなければ）説得力がない」冬休みなどの長期の休みは、何かしら自由であるという気分になりがちです。だからこそ、わがままな自分の気持ちにブレーキをかけなければなりません。ルールやマナーを守れることが大人への第一歩なのです。周囲の目がなくても、自分自身で考えて、ルールやマナーを守ってください。

明日からの冬休み、家族や地域の一員としての役割を果たすことも忘れず、事故等に気をつけ、1月16日の3学期の始業式にはここに全員が元気な姿を見せてほしいと思います。（2学期終業式の式辞を編集しました。）